

令和2年度第三者評価受審結果

可愛保育園では令和2年度に第三者評価を受審しました。
受審の概要と総合評価です

概要

1. 対象事業所名

可愛保育園

2. 経営主体

株式会社 可愛

3. 事業所住所

川崎市宮前区宮前平 1-9-24-A102

4. 評価実施期間

令和2年8月～10月

5. 評価実施シート（管理者層合議用）

令和2年9月10日～10月7日

評価方法：グループから上がった自己評価の内容を園長がとりまとめた。

6. 評価実施シート（職員用）

令和2年9月10日～10月7日

評価方法：職員へ説明を行い、各自が評価票で自己評価を実施した後、2グループに分かれて討議し、グループからの代表者2名でまとめた。

7. 利用者調査

配布日 令和2年8月26日 回収日 令和2年10月1日

実施方法：利用者アンケートを配布し、記入後、評価機関が用意した回収箱に投函してもらった。

8. 評価調査者による訪問調査

実施日：令和2年10月30日～10月31日

調査方法：評価調査員2名が訪問して、施設の見学及び利用者保育観察を行った。
同様に資料調査及び関係者へのヒアリングにより事業者調査を行った。

令和2年度 福祉サービス第三者評価結果

《基本情報》

対象事業所名	可愛保育園
経営主体(法人等)	株式会社 可愛
対象サービス	認可保育園
設立年月日	平成29年4月1日
定員(利用人数)	30名
事業所住所等	川崎市宮前区宮前平1-9-24 A-101、102 / 電話番号 044-855-8496
職員数	常勤職員 9名 ・ 非常勤職員 9名
評価実施年月日	令和2年10月30日・10月31日
第三者評価受審回数	初回
実施評価機関	株式会社 R-CORPORATION

《実施方法》

評価項目	標準となる評価基準
自己評価実施	期間：令和2年9月10日～令和2年10月7日 2グループに分かれて、話し合う。 2グループからの代表者で、1つの回答を出す。
利用者アンケート調査	評価実施期間 令和2年8月26日～令和2年10月1日

<理念>

「健康で明るく、素直で優しいのびのびとした子どもに」

1. 子どもの人権と主体性を尊重し、保護者や地域に愛される保育施設を目指します。
2. 職員は、豊かな愛情を持って接し、知識の習得と技術向上に努め保育に取り組んでいきます。

<基本方針>

ひとりひとりの子どもの良いところに目を向け認めながら、可能性を信じてのばしていきます。

<可愛保育園の特徴的な取り組み>

1. 外部講師によるリトミック、体操教室、英語教室を保育時間内で料金についても保護者の負担なく実施しています。
2. 食育で野菜を育てたり、栄養を知ること、クッキング等への取り組みを栄養士と保育士が協力して実施しています。

《総合評価》

【可愛保育園の概要】

●川崎市認可保育園「可愛保育園」（以下、可愛保育園）は、株式会社可愛（以下、法人という）の経営です。法人は、昭和59年4月に認定保育園可愛ベビーホーム設立以来36年、ここ宮前平の地で、保育室として地域の子育て親子に親しまれています。認定保育園可愛ベビーホームは3歳未満児対象でしたが、平成29年4月に川崎市認可保育園として「可愛保育園」を開設し、経験値の高い保育士を中心にした体制で、子ども・保護者へ親身になって保育に当たっています。

●可愛保育園は、1歳から5歳までの5年間の認可保育園で、各年齢の定員は6名とし、合計30名のアットホームな保育園です。可愛保育園の保育方針は「ひとりひとりの子どもの良いところに目を向け認めながら、可能性を信じてのばしていきます。」にあり、「丈夫な身体で思いっきり遊べる子ども」、「好きなことにじっくり取り組める子ども」、「友だちと楽しく遊べる子ども」、「感動して、素直に表現できる子ども」、「よく見てよく聞いて考えて行動できる子ども」の育成を目指し、養育に努めています。

《特に評価の高い点》

1. 【外部講師招聘によるリトミック、英語、体操教室の実施】

●可愛保育園では、保育時間内に外部講師を招聘してアクティビティを実施しています。対象児では、リトミックは1歳～2歳児、「ECC ジュニア」の英語講師による英語レッスンは4歳～5歳児、日本体育システム（株）ライズスポーツクラブの専門講師による体操教室は、3歳～5歳児が行っています。リトミックは、音楽を通して感情や情緒を育み、心の働きを豊かにし、幼い頃から音感を育てることを狙いとしています。成長発表会では、保護者に小さい子どもたちが成長した姿を披露し、共に成長を喜び合っています。英語レッスンでは、月2回、「ECC ジュニア」から講師を招いてレッスンを行っています。単に英語を覚えるだけではなく、英語を通じて子どもに世界の一端を見せています。体操は、スポーツクラブから毎週、専門講師を招いて体操教室を行い、いずれも本物を子どもたちが体感し、五感を育み、豊かな心身の育みを培っています。これら取り組みは、保護者から共感と好評を得ています。

2. 【1～2歳児と3～5歳児以上の異年齢保育】

●可愛保育園は、異年齢保育を行っています。園舎はマンション1階の全フロアを活用して保育室を2部屋設けています。各年齢の定員は6名ずつとし、異年齢で2つの保育室に最大18名としても、保育士が十分目の届く範囲であり、子どもたちは大家族の兄弟姉妹のように仲良く、楽しく過ごしています。異年齢では、上の子どもが下の子どもを思いやり、下の子どもは上の子どもに憧れる関係が生まれ、少子化の中で、兄弟の少ない子どもが増えた昨今、保育園での疑似兄弟姉妹の経験は子どもたちが大きくなった時、「他人への思いやり」が育まれると思います。また、年齢相応の活動は各年齢に応じてそれぞれに行い、環境から育まれる縦・横の関係作りや人間力が培われています。

3. 【職員のコミュニケーションの良さ】

●可愛保育園は、異年齢クラスを複数の担当保育士で保育に当たっています。保育士は、常に2つの保育室の全フロアを見渡すことができる利点にて、職員間で助け合うことができ、余裕を持って保育に従事できています。1歳、2歳児の担当保育士でありながら、隣の保育室の3歳児が「トイレに行きたい」と言えば、衣服の着脱の援助をしています。このような体制の下、保育士間で連携、「報・連・相」ができ、コミュニケーションも良く、仲の良さが特長です。園舎の限られた敷地面積を使いやすいよう工夫し、子どもは家庭にいるような気分を味わい、保育士は子どもに居場所を提供し、非常に良いコミュニケーションが生まれています。今後も、可愛保育園の良い点を維持していくよう期待が寄せられます。

＜改善を求められる点＞

1. 【職員の質の向上と幹部職員の育成】

●可愛保育園は、職員間で意思疎通を図れる体制です。保育の面では行き届いた機転がきく保育が実施されています。利用者（保護者）アンケート結果からも保護者が満足していることが解ります。但し、園全体に関する面は園長が実施する（してくれる）という思いが組織風土として見られます。先ず、園長に頼らなくても幹部職員で問題解決ができれば、職員の行動パターンが変わり、組織文化も変わります。是非、組織風土・環境作りのステップアップを目指し、その為に職員の育成・スキルアップを図り、可愛保育園の将来の姿を全職員で描いていかれることを期待いたしております。